

竹沢清氏プロフィール



元ろう学校教師

現在、中部学院非常勤講師

1946年、石川県生まれ。

名古屋大学経済学部卒業後、障害児教育をまったく知らずに、ろう学校へ。

著書に『子どもの真実に出会うとき』『教育実践は子ども発見』『子どもが見えてくる実践の記録』
(以上、全障研出版部) など。

プロフィール参考資料

講演（アドバイス）のテーマ：

「障害のある子・なかま」、「気になる子」の内面理解と働きかけ

「問題行動のとらえかたと働きかけ」

「(実践の) 記録の書き方」など

最近、障害児関係者だけではなく、保育、学童保育、放課後デイ、ヘルパー養成講座などでも、話す機会がふえている。

ゼミのテーマは「障害児の発達を通して、人間を“深く”学ぶ」であった。

著書：『人間をとりもどす教育』（民衆社一絶版。自宅に在庫あり）

『子どもの真実に出会うとき』（全障研出版）

『教育実践は子ども発見』（全障研出版）

『子どもが見えてくる実践の記録』（全障研出版）

※講演会において、著書をお取り扱いいただける場合は、直接出版社へお問い合わせください。
買い取り、及び預かりで講演後精算も相談可能かと思います。

全障検出版部 03-5285-2601 <http://www.nginet.or.jp/>

生まれ : 1946年、石川県羽咋(はくい)市に生まれ、高校卒業まで住む。

きっかけ : 名古屋大学経済学部を卒業後、高校教員になるつもりが、まったく知らないままに聾学校に赴任。

「3年たてば高校に転勤できる」と言われたが、結果的に、一宮聾学校に20年、千種聾学校に18年、計38年聾学校のみに勤務し、定年退職。

担当 : 一宮聾学校では、当初、中学部・高等部の社会科を教えた。千種聾学校では小学部で、障害を併せ持つ子(主に聴覚障害・知的障害、聴覚障害・自閉性障害)を教えた。

退職後 : 中部学院大、日本福祉大、岐阜大、愛知教育大などの非常勤講師。
現在は中部学院非常勤講師。

所属サークル : 日本生活教育連盟、全国障害者問題研究会など。

家族 : 妻 長男 長女 次女 猫2匹 犬1匹

趣味 : クラシック音楽鑑賞 美術館めぐり